

京都精華大学 枯木又プロジェクト 2012 / 越後妻有アートトリエンナーレ  
作品募集要項

テーマ 循環する時

四季の移り変わりがはっきりとした北国で育まれてきた生活や文化に連なるサイトスペシフィックなアート作品を制作・展示する。

趣 旨

2009年の越後妻有アートトリエンナーレ「廃校プロジェクト」を契機として開始された枯木又プロジェクトは、京都精華大学の有志（教職員・学生・卒業生）による継続的なプロジェクトとして実施されている。2010年・2011年も春の雪解け、夏の長期滞在、秋の収穫、冬の豪雪と四季折々に姿を変える里山で、地域の方々の協力のもとに活動を行ってきた。

2012年のトリエンナーレでは、“循環する時”をキーワードにアート作品の制作・展示と、枯木又地区に滞在しての交流プログラムを実施する計画である。

四季の推移の明確な北国の生活や文化は、昔から、自然のサイクルと一致しながら築き上げられてきた。そこには、大量生産ー大量消費ー大量廃棄を基調とする経済のあり方とは全く異なる価値観が存在する。そうした場所では、時間の解釈も、直線的な発展・進歩を続ける（歴史的な）ものではなく、過去・現在・未来を包み込むような循環する（神話的な）ものと捉えられることになる。

枯木又プロジェクト 2012 は、こうした地域性にに基づきながら、気候・風土・文化に呼応するサイトスペシフィックなアート作品を通して、現代生活の価値観を再考する企画を実施したい。

会 期 2012年7月29日（日）～9月17日（月・祝） 51日間

募集内容

越後妻有地域の魅力を活かしたアート作品や国際的な発信力を持つアート作品  
枯木又プロジェクト 2012 のテーマ及び趣旨に即したものであること

展示場所

新潟県十日町市中条・旧枯木又分校およびその周辺（枯木又集落内）

集落内については土地所有者との協議が必要となる

校庭・体育館・プールおよび教員宿舎前の樹木周辺は展示計画に入っているため、それ以外の場所で提案すること

展示場所を未確認の応募者は11月4日～6日の現地見学会に参加することが望ましい

応募資格 京都精華大学の在学学生・卒業生及び教職員

提出期限 2011年11月30日(水) 郵送の場合は夕方までに必着のこと

#### 提出物

1枚目に氏名、住所、電話番号、メールアドレスおよび在学学生(学籍番号・学年・所属コース)・卒業生・教職員の種別を記載すること

作品提案書：作品タイトル、コンセプト及び内容説明(400字程度)、展示場所、制作方法、素材、サイズ、ドローイングや模型写真・図などを用いてわかりやすく表現すること

経歴書・参考作品事例などプランの参考になる資料

体裁：上記を1冊にし、A3サイズ以内、かつ合計10枚以内でまとめる。パネル不可。

提出物は返却しない。保存や廃棄に関する判断は主催者に委ねられる。言語は日本語又は英語

#### 規定・条件

作品の制作費・運送費は応募者の負担とする。交通費・滞在費は一部補助を予定しているが、詳細は協議の上決定する

展示場所は原則として終了後に現状復帰すること

#### 審査

応募後切後に書類審査を行うが、必要に応じて追加資料の提出や面接審査を行う場合がある

#### 審査発表

12月中旬をめどに応募者に通知する

#### 著作権等

著作権は応募者に帰属するが、ドローイングや写真は、枯木又プロジェクト及び越後妻有アートトリエンナーレの広報物に無償で使用できることとする

#### 現地見学会

2011年11月4日(金)～6日(日)

11月5日に「越後妻有の林間学校一秋」としてワークショップを実施する

交通費は一部補助を予定しているが原則として参加者が負担する

#### 問い合わせ・提出物送付先

京都精華大学立体造形コース研究室

(開室時間：月曜～水曜 13:00～18:00, 木曜 14:40～18:00, 金曜～日曜は休室)

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町 137

E-mail : [kareki@kyoto-seika.ac.jp](mailto:kareki@kyoto-seika.ac.jp)